

2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	ガリレオクラブインターナショナル
活動テーマ	震災から 10 年、節目の東北作業所応援市 2021



被災地外の多くの方は、福島以外の東北の被災地のほとんどが復興したと感じていると思いますが、実際には、かさ上げ工事がようやく終わり、橋の架け替えや道路の敷設などが始まったばかりという現状を知らないと思います。つまり、現地では、復興への道のりはまだまだ時間がかかる、ということです。被災地では、特に、社会弱者である障がい者や高齢者は苦境に立たされることが多く、今現在でも、作業所の多くは、復興に向けての取り組みの中で苦勞をすることがとても多いのです。そこで、震災から10年という節目に合わせて、被災した当時の様子から、現在の状況までをまとめた冊子を作りました。これまで、障がい者の方の防災やケアについて、事例をまとめているものが少なく、今回の活動は、障がいのある方の未来につながる礎となりました。障がい者だけでなく、高齢者や外国の方、妊婦さんや赤ちゃんも社会的弱者であり、こうした方々は災害によって取り残され、あとまわしにされがちです。未来の災害は予知できませんが、被害をできる限り小さくする「減災」や「防災」は今からでもできる事です。そして今、コロナ禍という、大きな災害の渦中にある私たち全員が、抑圧的な空気の中で、すでに、2年にならんという長さを過ごしています。行けども行けども、なかなか出口が見えず、この息苦しさや、ストレスの発散もままならない状況にあります。こういう状況だからこそ、こころの問題は、分け隔てなく、この地球に生きるすべての人の問題になっています。私たちの学びは、決して地球を救えるほどのものではないにしろ、こころのケアという観点からは、そのきっかけに、なりえるものと確信しています。